

## ネストからセッターまでの種卵の取り扱い



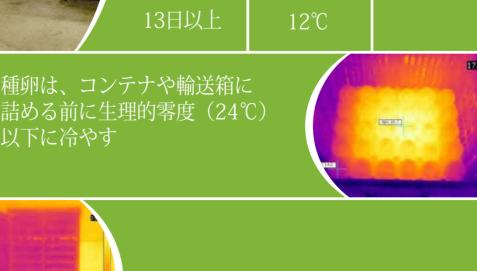
集卵 種卵消毒 輸送 貯卵 卵を湿らせない; 水滴が種卵にかからないよう エアコンと加湿器は良く整備 集卵から2時間以内に消毒を行う 汚染のリスクは、産卵後3分以内が 最も高い ※常に、国の法律に従う 結露を防ぐ; 貯卵及び輸送中は低温流通 させる してきれいに保ち、送風が直 ・ 消毒薬の用法容量を守って適切に消毒する ・ 消毒効果の上がる環境で消毒する • 消毒が十分に行き渡るように、攪拌扇を回す 種卵の衛生 ネスト内を清潔に保つ; 糞や汚物を毎日取り除く。集卵ベルト を毎週、清掃消毒する 種卵輸送車が清掃消毒され ているか、種卵を積み込む 貯卵室が空になる度に、 前にチェックする 清掃と消毒を行う 汚卵や巣外卵は清浄卵と分けて集卵 し、別々に取り扱う 集卵後4時間以内に貯卵する 消毒する時は、プラスチックトレーを使用する 貯卵日数 貯卵温度 相対湿度 貯卵室からトラックへ積み込む間は、種卵にダメージ を与えないよう慎重に扱う 集卵は少なくとも1日に4回 0-7目 18℃ 8-13目 12−15℃ 75-80% 取り扱い 13日以上 12°C

種卵の国



集卵中は、ヒビが入らない よう慎重に卵を取り扱う





トロリーは下段から詰めてゆく

